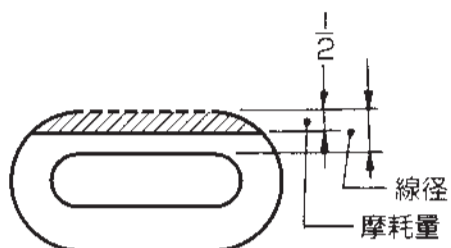


5 取外し方法

- 取外しの際には、ジャッキアップの必要はありません。次の手順に従ってください。
- (1) 板フックが斜め(45°程度右下または左下)の位置になるように車輛を止めます。
 - この位置が、一番操作がスムーズになります。
- (2) チェーンバンドを外します。
 - 下側のフックから、体重をかけながら外すとスムーズに作業できます。
- (3) 外側板フックを外します。
- (4) 内側板フックを外します。
 - 外側のサイドチェーンを両側に括弧で、内側のサイドチェーンをゆるめておく操作がスムーズになります。
 ただし、外側のサイドチェーンを、内側に落とさないようにしてください。
- (5) 内側のサイドチェーンを外側に引き出します。
- (6) 車輛を移動して、取外し作業は完了です。

6 使用限度・保管方法その他



- ### 1. 使用限度について
- 使用後にクロスチェーンの破損の有無、摩耗量、チェーンバンドのキズ等を確認してください。
- クロスチェーンは1ヶ所でも破損があったり、線径の半分近くまで摩耗していれば寿命です。早めに新しいチェーンをお求めください。
 - チェーンバンドに破損やキズがある場合は、新しいチェーンと取替えてください。

- ### 2. 保管方法、その他について
- 長時間使用しない時は、水洗い後乾燥させます。そして防錆油などをうすく塗って、乾燥した直射日光の当たらないところに保管してください。
 - 使用後はネジレ防止のため、サイドチェーンの両端を結んでおいてください。
 - ご自身で修理することは絶対に避け、新しいチェーンと取替えてください。

・誤った取付け方法および使用方法による事故、故障については、一切責任を負いません。
 ・仕様は、予告なしに変更することがあります。

製造元 Cathay American, Inc.

販売元 CHUHATSU 中発販売株式会社
 お問合せ先 〒457-0066 愛知県名古屋市南区鳴尾2丁目114番地 TEL052-614-3653

雪道楽 aII

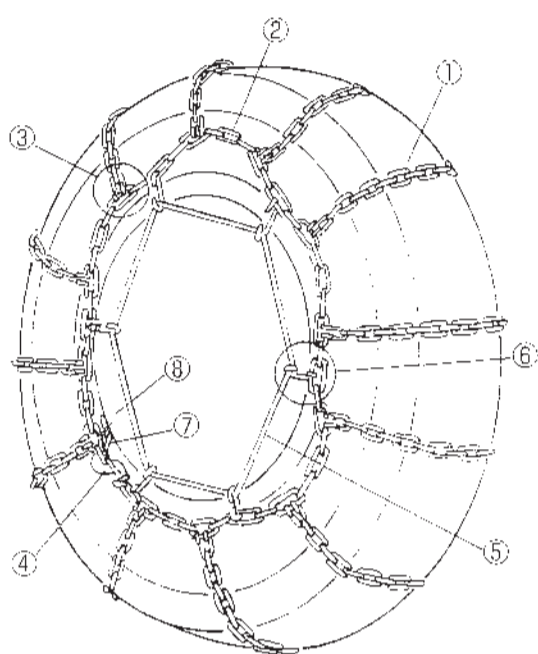
取扱説明書

このたびは、合金鋼チェーン・雪道楽 aII をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、常に正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

▲注意
 チェーンをお買い上げになった後は必ず「取り付け(装着)練習」を行ってください。氷雪路での初めての取り付けは正しい装着ができないおそれがあります。

1 セット内容と各部の名称

このセットは以下の内容で構成されています。使用前に必ず、お確かめください。



1. チェーン本体 2本 (同じもの)
2. チェーンバンド 2本 (同じもの)
3. 取扱い説明書 1部
4. 針 金 4本 (同じもの)
5. 手 袋 1ペア

- ①クロスチェーン ②サイドチェーン ③コネクター
 ④板フック ⑤チェーンバンド ⑥クリップ
 ⑦調整リンク ⑧針金

装着した状態

3 走行中の注意事項

1. 試走行について
 ●チェーン装着後、200~300m程度試走行をして、異常がないことを確認してください。

- ### 3. その他
- チェーン装着場所
▲警告
 チェーンは指定された場所で行ってください。
 ・他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。
 ・路上でのチェーンの巻回には他の交通の邪魔をしたり、事故に巻き込まれるおそれがありますので絶対にしないでください。
 ・傾斜地でのチェーンの巻回は不用意に車が動き出す危険性がありますので、絶対にしないでください。
 - チェーンを装着して走行すると、アールミキヤ、ホールミキヤ、タイヤ等の調整(調整)等キス付合があります。必ずホールミキヤは、外して使用してください。
 - チェーンは、チェーンバンド、ホールミキヤ、ホールミキヤ、タイヤ等の調整(調整)等キス付合があります。必ずホールミキヤは、外して使用してください。

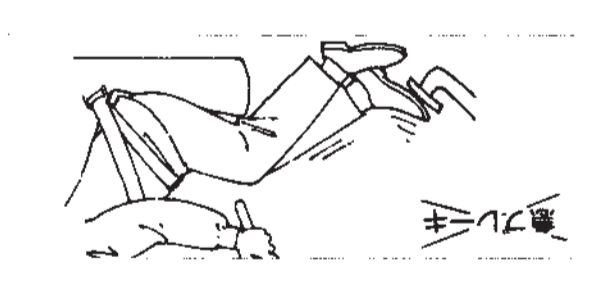
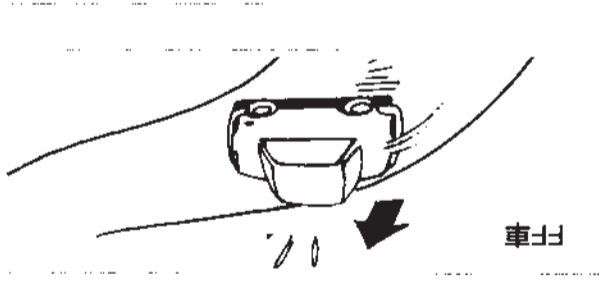
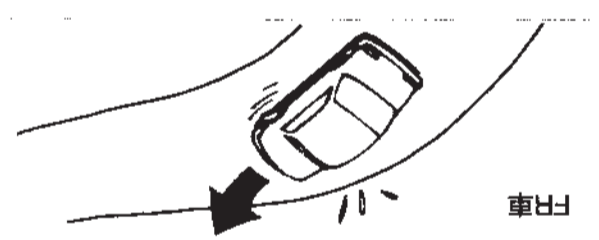
- ### 2. 車輛への装着について
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
- ### 1. 適合タイヤサイズについて
- 必ずタイヤサイズに適合したセットを使用してください。
 - タイヤサイズは、カーブ間のスチンパに記載されています。必ず、ご確認ください。
 - タイヤサイズは、タイヤの空気圧・摩耗量・ホイール径によって多少異なる場合があります。また、スチンパ・再生タイヤと特殊なタイヤについては、本セットが装着できない場合があります。
 - タイヤサイズを購入後、直ちに装着をして、タイヤサイズと合うことを確認してください。
 - 車輛によっては、同じ適合タイヤサイズでも装着できない場合があります。車輛の取扱説明書のタイヤサイズもお読みください。
 - チェーンは、同じ適合タイヤサイズでも装着できない場合があります。車輛の取扱説明書のタイヤサイズもお読みください。

2 使用前の注意事項

- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)

●チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)

- ### 2. 通常走行について
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)



- ### (4) 坂道を運転する時には
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
- ### (3) 停止する時には
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)

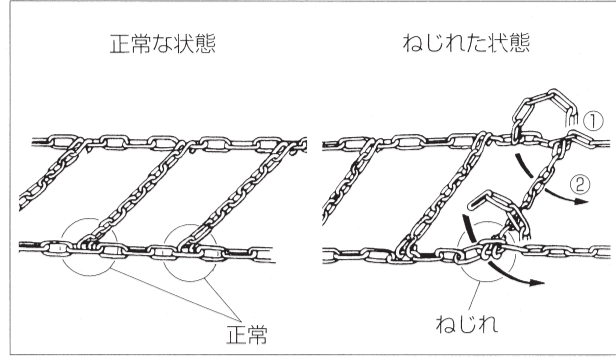
- ### (2) 通常走行の時には
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)

- ### (1) 発進する時には
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)

- ### 2. 通常走行について
- チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)
 - チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱説明書に従ってください)

4 タイヤチェーン取付け方法

タイヤチェーンの取付け方にはジャッキアップして取付ける方法と、ジャッキアップしないで取付ける方法があります。



- チェーンの取扱いは、ケガ、汚れ防止のために必ず手袋を使用してください。

A. ジャッキアップして取付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

- ケーブルを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジれている場合は図のように、サイドチェーンがコネクターにからんだ状態になります。
- ネジれた状態の時は、矢印(①→②)のようにくぐらせることで、正常の状態になります。
 - ネジれた状態では装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

2. 取付け

- (1) パーキングブレーキを引き、ギアをローまたはバック(マニュアル車)、あるいはパーキング(オートマチック車)に入れます。タイヤ止めも併用してください。
- (2) 車輪をジャッキアップして、タイヤを完全に浮かします。
 - ジャッキの使い方については、車輪の取扱説明書をお読みください。
- (3) チェーンを板フックがタイヤ下部より5cm程度上にくるようにタイヤにかぶせます。その際、コネクターの折曲げ部が外側(タイヤ面に接しない側)に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側にくるようにタイヤにかぶせます。

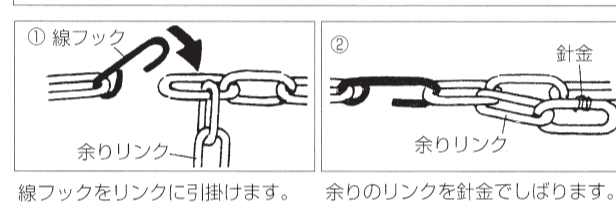
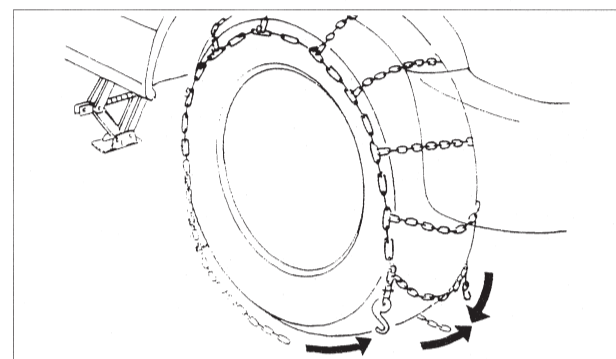
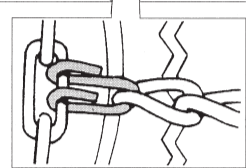
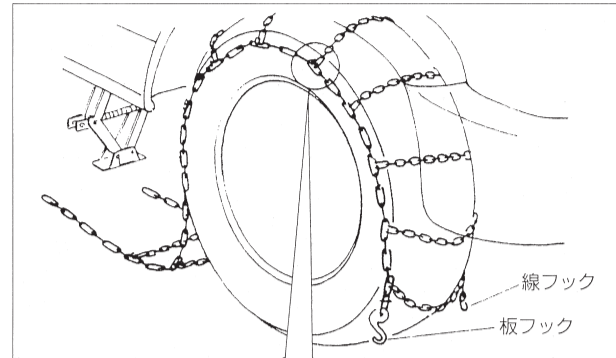
▲注意

- ・コネクターの折曲げ部が内側(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。
- ・線フックが外側、板フックが内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。**ゆるめ装着**になる場合が多いので注意してください。

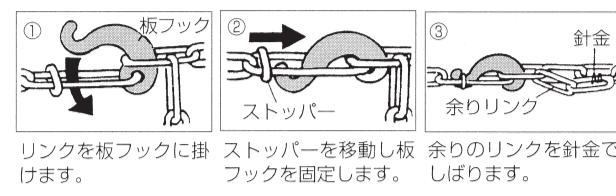
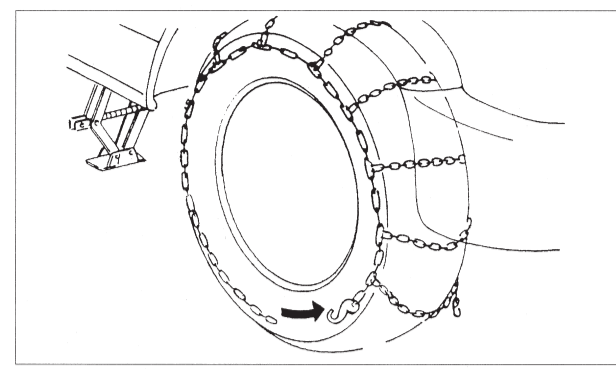
- (4) サイドチェーンの調整リンク側(板フック、線フックのついていない側)を、浮かしたタイヤの下部からフック側にゆっくり引き寄せます。
- (5) 調整リンクの最適な位置を確かめて、内側のサイドチェーンと線フックを連結します。
 - 正しい取付け方は内側、外側とも余りのリンクが同数または内側が1リンク少なくなります。この状態でゆるみのないように調整し、確実に締めてください。

▲注意

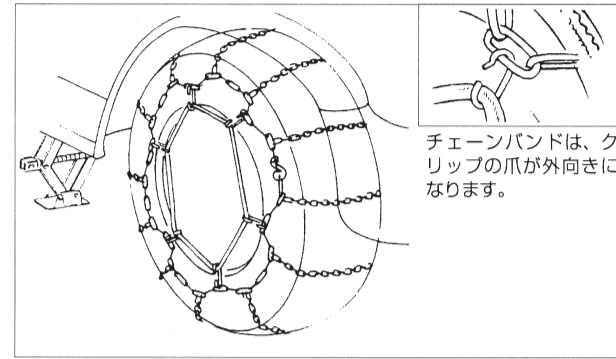
- 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
- そのままにして走行すると**車輪に接触**する場合があります。



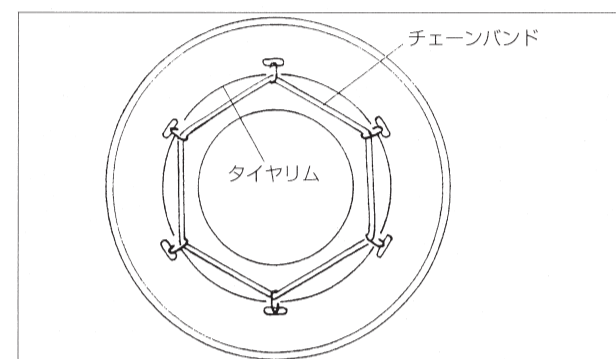
線フックをリンクに引掛けます。 余りのリンクを針金でしばります。



リンクを板フックに掛 ストッパーを移動し板 フックを固定します。 余りのリンクを針金でしばります。



チェーンバンドは、クリップの爪が外向きになります。



- (6) 外側サイドチェーンをタイヤに平均してかぶせて最も張られた位置で連結します。

▲注意

- 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
- そのままにして走行すると**車輪に接触**する場合があります。

- (7) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けてください。
 - サイドチェーンの結び方がゆるいと、バンドが効かない場合があります。チェーンバンドを外して、サイドチェーンを結び直してください。

▲注意

- ・チェーンバンドを付けないで走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、**フェンダー等に当たる**ことがあります。
- ・クリップの爪が外向きになるように掛けてください。**クリップの爪が内向き**(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**が付くことがあります。

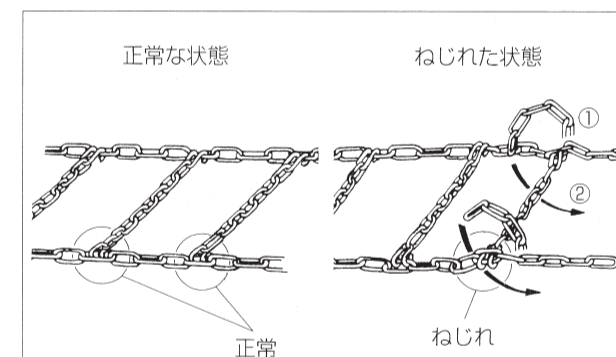
3. 取付け状態の確認

- (1) チェーンがゆるくないかを確認する。
 - チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
- (2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
 - 片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

▲注意

- 片寄ったまま走行すると、**コネクターを踏んだり早期切損**につながりやすいへんにあぶないです。

- (3) 全ての確認が終わったら、ジャッキをおろします。タイヤ止めは、左右のタイヤにタイヤチェーンを装着してから外します。



B. ジャッキアップしないで取付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

- ケーブルを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジれている場合は図のように、サイドチェーンがコネクターにからんだ状態になります。
- ネジれた状態の時は、矢印(①→②)のようにくぐらせることで、正常の状態になります。
 - ネジれた状態では装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

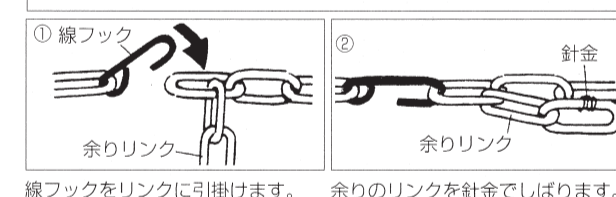
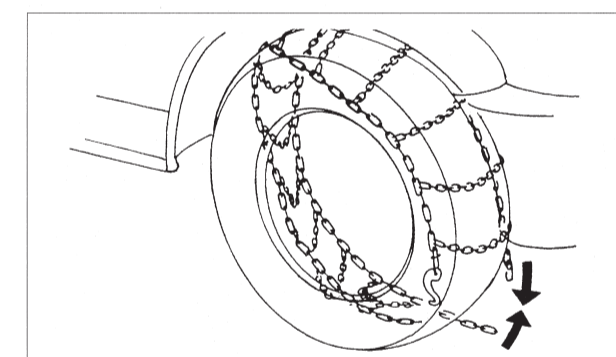
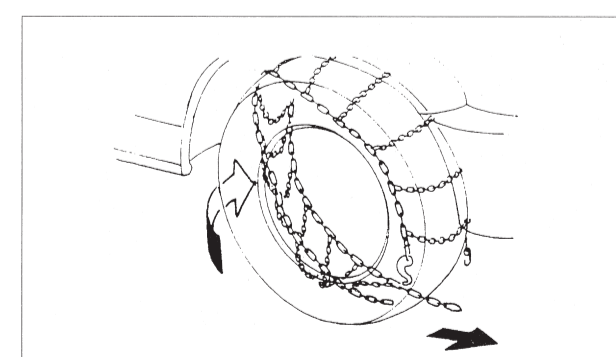
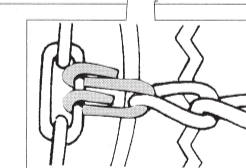
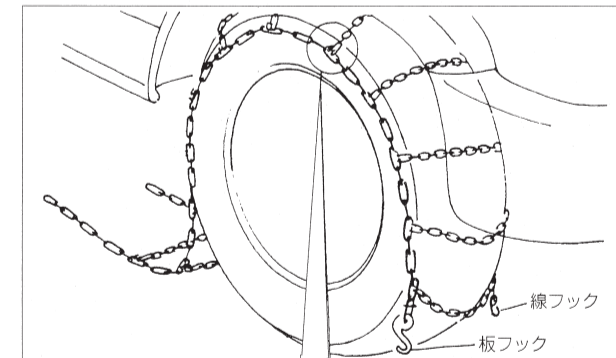
2. 取付け

- (1) パーキングブレーキを引き、ギアをローまたはバック(マニュアル車)あるいはパーキング(オートマチック車)に入れます。タイヤ止めを使用して、車輪が動かないようにします。
- (2) チェーンを、板フックが路面より5cm程度浮くようにタイヤにかぶせます。その際、コネクターの折曲げ部が外側(タイヤ面に接しない側)に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側にくるようにタイヤにかぶせます。

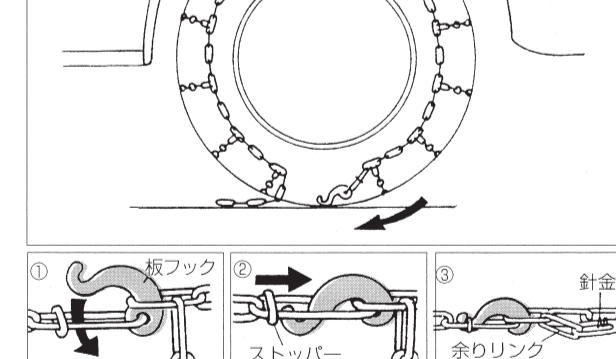
▲注意

- ・コネクターの折曲げ部が内側(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。
- ・線フックが外側、板フックが内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。**ゆるめ装着**になる場合が多いので注意してください。

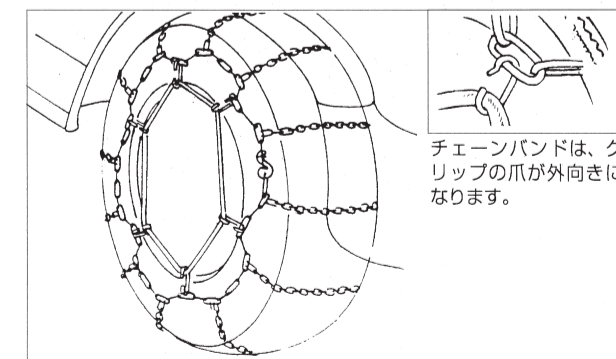
- (3) 外側のサイドチェーンをタイヤ内側に寄せて、サイドチェーンの調整リンク側(板フック、線フックのついていない側)を線フック側に投げつけて引き寄せます。固めの針金を用意しサイドチェーンの端末を引掛けて引寄せると楽にできます。



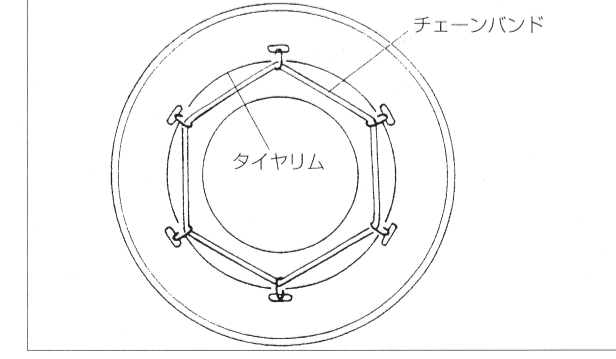
線フックをリンクに引掛けます。 余りのリンクを針金でしばります。



リンクを板フックに掛 ストッパーを移動し板 フックを固定します。 余りのリンクを針金でしばります。



チェーンバンドは、クリップの爪が外向きになります。



- (4) 調整リンクの最適な位置を確かめて、内側のサイドチェーンと線フックを連結します。
 - 正しい取付け方は内側、外側とも余りのリンクが同数または内側が1リンク少なくなります。この状態でゆるみのないように調整し、確実に締めてください。

▲注意

- 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
- そのままにして走行すると**車輪に接触**する場合があります。

- (5) 板フックが真下にくるようにチェーンをずらし、タイヤに平均にかぶせた後、外側サイドチェーンが最も張られる位置で連結します。
 - 板フック部が真下にこないこと、つなぎ部の間隔が広がりがゆるめ装着となります。
 - 板フックを仮止めし、その両端をサイドチェーンを強く手前に引きゆるみのないように付けてください。

▲注意

- 余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
- そのままにして走行すると**車輪に接触**する場合があります。

- (6) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けてください。
 - サイドチェーンの結び方がゆるいと、バンドが効かない場合があります。チェーンバンドを外して、サイドチェーンを結び直してください。

▲注意

- ・チェーンバンドを付けないで走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、**フェンダー等に当たる**ことがあります。
- ・クリップの爪が外向きになるように掛けてください。**クリップの爪が内向き**(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**が付くことがあります。

3. 取付け状態の確認

- (1) チェーンがゆるくないかを確認する。
 - チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
- (2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。
 - 片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

▲注意

- 片寄ったまま走行すると、**コネクターを踏んだり早期切損**につながりやすいへんにあぶないです。

取り付け方法
確認動画
QRコード
(ジャッキアップ有り)



取り付け方法
確認動画
QRコード
(ジャッキアップ無し)

